

第2章 地域別施策展開

1 地域別施策展開の趣旨

社会経済環境が変化し、住民生活や流通・産業が広域化している中、地域がその持てる資質、特性を最大限に活かして、発展の方向性を見いだしていくことは、これまで以上に重要となっています。

そこで、県の役割の変化も踏まえながら、市町村、民間、住民等の対話と協調のもとに各地域が進むべき方向性として、「地域別施策展開」を示すものです。

2 地域の単位

5 県民局の単位ごとに策定します。

3 構成、内容

地域の「優れた特徴・課題」、「県民の視点」（県民アンケートや地域懇談会の意見等）、及びこれらを踏まえ設定した「地域の目標」と「主な取組」から構成します。



中部地域



市 町 村：前橋市・伊勢崎市・渋川市・榛東村・吉岡町・玉村町
 域内人口：703千人 / 域内面積：766 km²

中部地域は、赤城山、伊香保温泉、利根川などの豊かな自然や観光資源に恵まれるとともに、農業や商工業がバランスよく発展し、行政、医療、教育、公共施設など、人々が快適に暮らせる機能が集積する住みやすい地域です。

中部地域のご当地ぐんまちゃん



前橋市
 (赤城山)



伊勢崎市
 (伊勢崎餅 / 旧時報鐘楼)



渋川市
 (伊香保温泉・へそ踊り)



榛東村
 (白樺のぶどうと縄文耳飾り)



吉岡町
 (新しい風を起こすまち)



玉村町
 (田園夢花火)

「ご当地ぐんまちゃん」とは

群馬県のイメージアップを目的に、県内の市町村と連携して「ぐんまちゃん」の活用の幅を広げるため県内市町村ごとの「ぐんまちゃん」のデザインです。

1 優れた特徴・課題

中部地域は、群馬県の中央に位置し、赤城山南・西麓、榛名山東麓の豊かな自然と多彩な文化的・歴史的遺産に恵まれ、県人口の三分の一を超える約70万人が暮らしています。県央地域においては高度専門医療機関、大学、文化・スポーツ施設や主要な公共機関が数多く存在するなど良好な生活環境が整っており、中心地域の周辺では人口流入が見られ、年少人口の割合が高く活気がみられます。

周辺地域では名湯伊香保温泉や名峰赤城山など群馬県を代表する知名度の高い観光資源に恵まれ、広大な裾野では畜産経営や首都圏などの大消費地向けの野菜生産が盛んに行われています。

また、地域の中央部を関越自動車道、北関東自動車道が通り、東毛広域幹線道路や上武道路の建設が進められ県内外を結ぶ交通の結節点となっており、機械、輸送機器、食料品など県内有数の工業地域として生産高が高い水準にあります。県全体の年間商品販売額の約半数を占める商業も盛んですが、一方で中心市街地の活性化が課題です。

今後も良好な生活環境の下に定住や移住人口・交流人口が増加をしていくためには、子育て支援、雇用の確保、地域医療の充実などの生活基盤の整備が求められます。

また、特色を生かした地域ブランド力の発揮や地場産業の振興などへの取組、地域資源を活かした魅力的な観光振興、産業ポテンシャルの向上のための交通ネットワーク等の社会基盤整備などのさらに活力ある地域とする取組が必要です。



赤城山と前橋市街地



新しく延長された伊香保温泉石段

2 県民の視点

さらなる魅力ある地域へ

- ・「住み続けたい」、「住んでみたい」、「行ってみたい」地域とする施策が大切。
- ・赤城山、伊香保温泉、高度専門医療、豊かな自然など地域の資源・強みを生かした地域づくりをすべき。
- ・子育て支援や家庭教育の充実など子供を育てる環境と幼少期からの教育が大切。

安全・安心な暮らしの確立

- ・医療体制は比較的恵まれているが、医療の連携、医師不足の解消等いっそうの充実が大切。
- ・高齢者の健康づくりや地域生活を支える環境づくりとともに施設などの充実も必要。

さらなる活力ある地域へ

- ・ブランド化や資源・施設の連携、組み合わせによる農林業振興、観光振興が必要。
- ・技術力や地理的優位性など産業面における適確な情報発信と戦略が必要。
- ・地場産業の振興や企業誘致などによる雇用の確保と創出が必要。

3 地域の目標

地域資源を活用した観光振興

安全・安心で住みやすい環境づくり

地域ブランド力の創造と発信

活力ある産業と基盤づくり

4 主な取組

●地域資源を活用した観光振興

- ▶ 赤城山と周辺地域の観光資源を結ぶ周遊型のルート開発等による魅力アップと総合的な情報サイトの整備等による発信力の強化
- ▶ 伊香保温泉を核に榛名山麓の周辺地域の果樹園や文化芸術などの資源と連携した広域的観光メニューの開発
- ▶ 高度専門医療機関やぐんまアリーナ等を活用した生命や健康増進と結びついた新たな誘客の促進
- ▶ 日光例幣使道等の歴史・街並み、萩原朔太郎等の文人・文化、地域で見過ごされがちな風習・風景、地域を支えてきた産業遺産・工場等の地域資源の掘り起こし
- ▶ 豊かな水や緑に触れる自然体験、農作物の収穫や植林、育樹等の農林業体験、地域ではくくまれてきた「食」等を取り入れた地域に密着したニューツーリズム*の推進

●安全・安心で住みやすい環境づくり

- ▶ 保育サービス・相談支援機能の充実など子育てしやすい環境の整備
- ▶ 高度専門医療や救急医療機関等の優位性を生かした利用しやすい連携システムづくり
- ▶ 合併や人口流入地域における連帯感の醸成と地域等で支え合う人にやさしいまちづくりの推進
- ▶ 自然や緑の保全と公共交通機関の利用促進など生活しやすい環境の整備等の推進
- ▶ 外国人との相互理解を深める交流や適切な情報提供、相談体制への支援等による多文化共生*の推進
- ▶ 住民や保護者、ボランティア等による防犯活動への支援と自主防災組織の充実、消防本部（局）・市町村等との連携による消防団の充実
- ▶ 生産者、事業者と消費者との意見交流等による農畜産物への県民理解の促進と生産から流通の各段階における安全性の確保

●地域ブランド力の創造と発信

- ▶ 農林畜産物等の地場産品の掘り起こしと異業種や技術の交流等による特産品の開発と支援
- ▶ 農商工連携等を推進するプロジェクトの立ち上げや観光分野との連携による豚肉、野菜、バラ等の農林畜産物の高付加価値化と販路拡大
- ▶ 伊勢崎銘仙や近代こけし等の地域特産品や地場産業の認知度向上等のための地域ブランドづくりの支援と県内外への情報発信

●活力ある産業と基盤づくり

- ▶ 市町村や商工団体の参加する中部地域経済活性化連絡会議等による持続的な発展が可能な中小企業の育成・支援及び安定的な雇用確保の促進
- ▶ 地域関係者と連携し蓄積してきた都市機能の再活用による生活機能を重視した賑わいを創造する市街地活性化の支援
- ▶ 農業経営基盤の強化とともに農業関係機関・団体等の連携による畜産や野菜などの地域農業を担う多様な担い手の確保と育成
- ▶ 森林の保全整備と渋川県産材センター等による集荷、選別、加工が一体となった県産材の流通促進、風味豊かなきのこの生産振興と消費及び販路の拡大
- ▶ 関越自動車道や北関東自動車道など高い利便性や地域の優位性を活かした工業団地の造成等用地確保と企業誘致の推進
- ▶ 東毛広域幹線道路、上武道路、上信自動車道、高崎渋川線バイパス等の幹線道路やアクセス道の整備

西部地域



市 町 村：高崎市・藤岡市・富岡市・安中市・上野村・神流町・
下仁田町・南牧村・甘楽町
域内人口：581千人 / 域内面積：1,701 km²

西部地域は、商工業の発達した都市部から、自然が豊かな山間部までの広がりを有しています。古くからの歴史があり、教育・文化施設も多く、高速交通網が充実しているなど、多様な魅力とさらなる発展の可能性を持った地域です。

西部地域のご当地ぐんまちゃん



高崎市
(音楽のある街)



藤岡市
(藤と冬桜のまち)



富岡市
(富岡製糸場と絹産業遺産群)



安中市
(中山道の杉並木)



上野村
(おひながゆ)



神流町
(鯉のぼりと恐竜の里)



下仁田町
(ねぎとこんにゃく、ジオパーク)



南牧村
(大日向の火とぼし)



甘楽町
(織田氏ゆかりの城下町)

1 優れた特徴・課題

西部地域は、関東平野に位置する平坦な都市部から、山々が連なる山間部までの広がりを持ち、地域には、人口が県内で最大となった高崎市や県内最小規模の上野村、神流町、南牧村など、それぞれに特徴を有する9市町村があります。

全国屈指の交通拠点である高崎市を中心に、新幹線、高速道路などの高速交通網が整備されており、東京に近く、中京圏からの玄関口でもあります。榛名山、妙義山をはじめとした魅力ある山々、関東有数の清流神流川などの河川や湖などの豊かな自然や温泉があるほか、古くから文化が栄え、歴史的資産が多く、観光資源に恵まれています。また、高崎市を中心に、大学・短大等の高等教育機関、博物館・美術館等の文化施設が充実しており、群馬交響楽団の本拠地でもあります。

一方、農林業においては、耕作や森林整備の担い手不足が深刻化しており、山間部においては、過疎化、少子化、高齢化が著しい状況です。都市部は県内でも商工業が盛んな地域ですが、中心市街地の活性化が課題となっています。また、山間部を中心に道路事情が悪い地域があり、広域的な交通網の整備も十分ではありません。

今後、「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産*への早期登録に取り組むとともに、恵まれた地域資源を活かし、積極的に観光振興に取り組む必要があります。



高速交通網の一大拠点「高崎駅」



近代化遺産初の国重要文化財「碓氷めがね橋」

2 県民の視点

「誰もが安心して暮らせる地域づくり」への期待・ニーズが大きい。

地域内医療の補完や終末期医療への対応のため、医療分野における連携をさらに進める必要がある。高齢者などが車に頼らずに生活ができるよう、公共交通の充実や中心市街地の活性化は重要である。

中山間地域を守るためには、耕作放棄地や鳥獣被害への重点的な対策が必要である。

西部地域の65%は山林であり、さらなる森林の整備や県産材の活用、山村振興策が必要である。奥多野等の地域は過疎化が特に深刻であり、県土保全等の観点から特別な支援策が必要である。

地域の活性化のためには、観光など交流人口を増やす取組が重要である。

複数の観光資源を回ったり、地域の食や文化と結びつけた広域的な観光の推進が重要である。

群馬には雪国のイメージがあるが、西上州は雪が少なく、過ごしやすいくことをPRすべきである。

地域の歴史や産業、食材など、地域の良さを知り、地域に誇りを持たせる教育が重要である。

大学など高等教育機関の誘致や連携により、地域の活性化を図っていく必要がある。

北関東自動車道全通を踏まえた企業立地や地域の特徴を活かした工業振興に取り組む必要がある。

地域の活性化はもとより、地域の安全確保や人口の減少を抑制して地域を維持していくためにも、道路の整備は重要である。

建設業者の減少、体力低下により、道路除雪の体制を維持することが困難になってきている。

自然災害への十分な備え、体制づくりが必要である。

3 地域の目標

人がいきいきと生きる

産業をいきいきと活性化させる

地域の資源をいきいきと活かす

4 主な取組

●人がいきいきと生きる

(1) 健康に生きるために

- ▶ 高齢者が健康で生きがいを持った生活を送れるよう、健康づくりや社会参加の機会を充実
- ▶ 地域の医療を補完・充実させるため、他地域や県立病院との連携、病院と開業医、在宅医療等における連携を推進

(2) 心豊かに生きるために

- ▶ 子どもを親や学校だけでなく、地域の住民が関わり、地域で育てる取組を支援
- ▶ 学校教育等において自らの地域をよく知る取組を充実させるとともに、地域における文化・芸術・スポーツを振興
- ▶ 県立特別支援学校の未設置地域への設置

(3) 安全・安心な地域のために

- ▶ 自然災害に対して十分な備えを講ずるため、災害防止工事や緊急時の体制整備など、ハード・ソフト両面の対策を充実
- ▶ 災害発生時における集落の孤立化防止対策を着実に実施するとともに孤立化した場合の支援体制を整備
- ▶ 高齢化の進展や地球温暖化防止の観点から、公共交通の維持確保とともに利便性を向上
- ▶ 救急や災害時の対応など地域の安全を確保し、地域住民の生活を支える道路の整備と除雪も含めた維持管理を充実
- ▶ 地域と一体となって防犯や交通事故防止に取り組み、特に高齢者に対する取組を充実
- ▶ 山間部の過疎地域における生活を維持するために、生活基盤整備や産業振興の支援を充実

●産業をいきいきと活性化させる

(1) 商工業もいきいきと

- ▶ 北関東自動車道の全線開通や北陸新幹線の金沢延伸などによる高速交通網の充実と、それに伴う人・財・情報等の集積を活かして、バックアップ機能や物流拠点の誘致をはじめとした企業誘致に取り組み、地域の観光・商工業の活性化を支援
- ▶ 地域の活性化とともに、さらなる高齢社会の到来を見据えて、中心市街地や商店街を振興

(2) 農林業もいきいきと

- ▶ 米麦、野菜、こんにゃく、果樹、畜産など、地域の特性に応じて多様な形態で行われている農業経営の安定化を図るとともに、担い手の確保・育成対策を充実
- ▶ 耕作放棄地を再生する取組の充実や適切な鳥獣害対策の実施により、広大な面積を占めている中山間地域の農業を維持・振興
- ▶ 地域の農産物、特産品のブランド化を進めるとともに、販売力を強化
- ▶ 県産材の利用拡大、木質バイオマス*としての利用促進など、豊富な森林資源の利活用を進めることにより、林業を再生し、雇用を創出するとともに林業を支える人材を育成

(3) 活性化のための基盤整備

- ▶ 西毛広域幹線道路など、地域の交流を促進し、産業を活性化させるための道路を整備

●地域の資源をいきいきと活かす

(1) 地域の魅力度向上で観光振興

- ▶ 豊かな自然、温泉、東国文化をはじめとした古代から連綿と引き継いできた歴史文化遺産、さらに、産業施設や食、活発な文化活動など、地域の優れた観光資源を発掘し、磨き上げ、積極的なPR・おもてなしを実施して、県内外からの交流人口を拡大
- ▶ 「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産登録の早期実現を図るとともに、富岡製糸場と連携した広域的な観光振興と地域の活性化を推進
- ▶ 榛名山、妙義山、御荷鉾山をはじめとする西上州の山々と数多くの魅力ある滝を活かした観光や農林業体験を通じて都市住民と交流するグリーンツーリズム*を推進

(2) 地域の財産を活かす

- ▶ 大学などの教育機関と地域の産業や住民、行政との連携を促進し、地域を活性化
- ▶ 森林の整備や管理を充実することなどにより、水や景観を守り、豊かな自然環境を保全
- ▶ 高崎競馬場跡地は市街地に残された貴重な大規模空間であり、群馬県全体の発展に役立てるための利活用を推進